

最新のニュース

2010年5月30日 アシェル・イントレーター

「ガザに自由を」船団

この記事を書いている今、5隻の船がイスラエル領海に向かって進んでおり、ガザへの「海上封鎖」を破ってガザの人々に人道支援物資を運ぼうとしています。真の意図は人道支援ではありません。すでにイスラエルは人道支援物資を積んだトラックがガザに入ることを許可していますし、また船で人道支援物資をガザに輸送することを許可すると発表しているからです。

「ガザに自由を」船団は、元は8隻の船でしたが、技術的な問題とキプロスがイスラエルと同調しその船団の入港を許可しなかったため、その数は減り到着が遅れました。船のスポンサーは左翼過激派とイスラム聖戦主義者が結託したものです。彼らはイスラエルを悪者に見せかけようとメディアに働きかけているのです。もしイスラエルが彼らの入港を許可したら、私たちの主権と安全保障が犯されます。もし私たちがその船団を止めたら、メディアはイスラエルを人道支援に反する国と宣伝するでしょう。何人かのイスラエル人解説者は「私たちが何をしても、私たちは敗北する」と述べました。

船団を支援しているこの「人道支援」団体はハマスを支援する聖戦主義者であり、イスラエルの破壊を呼びかけています。船団は最大の支援をトルコ政府から受けています。トルコは伝統的に穏健派イスラム教で、イスラエルとはよい関係にありました。過去2年、エルドアン首相はトルコ内部においても国際的にもより戦闘的なイスラムという立場に国として方向を向けています。彼はイランと同盟を組み、イスラエルとの関係を緊張させています。

トルコで宣教活動をしている私たちのパートナーはこう書いています。「興味深いことに、イスラム教主義者と世俗の左派が一緒になってガザの人々を助け、イスラエルに恥をかかせる目的で行っているのです。彼らはイスラエル当局の許可がないとガザ近辺の海域に入ることは許されないと知っているのです。」

イスラエルは船がガザに入港することを許可しません。イスラエル海軍は船をアシュドドの港に行かせ、人道支援物資をガザに運ばせ、活動家を自国に帰還させようとしています。しかし、海上あるいはアシュドドでの衝突はかなり打撃を被ります。どうか人道支援がガザに届きますよう、イスラエルの安全と主権が実施されますよう、この聖戦主義者のプロパガンダによる攻撃にメディアが目を覚ましますよう、イスラエル政府がこの問題を、知恵を持って取り扱うことができますよう、お祈り下さい。

ウクライナへの派遣団

今週、各国からの信者と、地元イスラエルから何人かが(幾人かは私のCongregationから)伝道と諸活動のためにウクライナに行きます。どうかロン・カンター、エリ・バーンバウム、そしてソロモン・イントレーターによって導かれるこのグループのために祈って下さい。多くの魂が主にあって触れられ、ウクライナにあるメシアニックジュー共同体が強められますようにお祈り下さい。

ヘブライ大学での卒業式

今週ベディとアシェルは、二重専攻—聖書学と国際関係学において学士号を得る息子ソロモン(フレディ)の卒業式に出席することを喜んでおります。式典の終わる頃、ソロモンは式を外して彼がまとめているエルサレムの若い成人たちのフェローシップの元に行き、その後、ウクライナへ伝道派遣団と共に出発します。

アメリカでの活動

今週アシェルとベディはティックーン・ミニストリーズやCongregation会議、インマヌエル教会、そしてエル・シャダイ・Congregationで奉仕します。この活動においてポール・ウィルバーと共同でコンサートや教養を行うことなどが含まれています。この週が2010年において私たちがアメリカで活動する唯一の週となります。

新約聖書に対する学術的な関心

最近、新約聖書に興味を示している学生たちに証を行ういくつかの機会がありました。これにはメシアニックジューについてレポートを書いている士官学校の四人の生徒や、新約聖書の講師二人(まだ信者ではない)や、ツアーガイドとなるべく学んでいる20人の学生グループや、中学校の先生やスタッフのグループが含まれています。どうか彼らがメシアニックジュー神学について調査をしている際に、彼ら全員が救われますようお祈り下さい。イエシュアや新約聖書が現代のイスラエル学会において適切な地位を得ることができるよう！

ナザレでの全世界祈りの日

この前の日曜日、私たちはナザレで行われた全世界祈りの日に参加してきました。このイベントは地元のアラブ・クリスチャンが主催しました。約 800 人が参加し、12 のコングリーゲーションを代表し何名かのメシアニックジューも含まれています。ある時点で、アラブ人牧師がユダヤ人牧師の足を洗い、そしてユダヤ人牧師がアラブ人牧師の足を洗いました。(ヨハネ 13 章)。私たちと共に参加した新しいイスラエル人信者は私たちとアラブ人クリスチャンとの間にある愛と交流の深さに衝撃を受けていました。彼はいいました。「すべての政治家やメディアがこのようなイベントを見ることができないなんて、何と悪いことなのか。これは世界を変えるかもしれないのに。」

私たちの存在の証拠

アミエル・イントレーター

現代のイスラエルのコインは古代ユダヤのコインのレプリカです。例えば、1シェケルコインはエズラやネヘミヤの時代のユダヤコインのレプリカです。イスラエルはペルシャによって支配されていたため、コインにはペルシャの他の州と似た記章があります。しかし、そのコインの一方には、古代ヘブライ語文字で「ユダヤ」と刻印されています。

最近、私の学校の先生の一人が東エルサレムにある骨董品店から古代ハスモン朝のコインを買ってきてくれました。そのコインはイエスの時代から 100 年さかのぼる、アレキサンダー・ヤナイが支配した年のものでした。そのコインが示す文化的、歴史的、そして考古学的な認識を超え、それは私たちの存在を示す証拠でもあるのです。

これらのコインは 2,000 年以上も前にイスラエルの地にユダヤ人が住んでいたことを証しています。現代のコインを古代の記章でデザインすることによって、私たちは、古代からこの地に私たちの民が暮らしていた事実を示しているのです。私たちユダヤ人が非常に長い時間を経て父祖の地に戻ったことは奇跡なのです。